

なことであろうか。

まず、郷土史の問題は、視野が狭く、お国自慢的、中央の史実・人物との関係において郷土の歴史を語る傾向、非科学的の3点である。これに対する批判として、戦後に地方史という用語が普及し、上記3点の克服をめざして調査研究が進められた。

ところが、1970年代からは、地域史という用語が使用されるようになった。地方史研究が纏う、次のような2点を中心に批判がなされたのである。問題解明の素材を地方からとるが、当該地域の全体的歴史性については関心を払わない、中央で論議される理論を無批判に受容し、地域に押しつける結果を生んだ、等々。簡潔にまとめるなら、「中央に対する地方の従属性」という点が批判対象となった、と言えよう。一方、地域史には、あくまで地域に則して、地域から問題を汲み上げる、問題解明に実証的な手続きをとる、問題の歴史性を平易に叙述する、地域独自の歴史を発掘する、等々の志向があったのである。

以上のように、歴史研究の進展とともに、郷土史・地方史・地域史と、主流となる用語は変化してきたが、現在、三者は併存している。三者それぞれの成し遂げた成果が、現在もなお命脈を保ち、その意義が失われたとは言えないからである。

例えば、地方史研究は、限界が指摘されつつも見方を変えれば、文書の発掘・整理や目録作成、現地主義にもとづく保存・利用機関の設立など、現在の歴史学の基盤となるものを整備してきた。また、地域住民にとっては、地方史研究が、生涯学習（文書の翻刻・学習などの研究活動）の機会であり、地方自治に民主主義を確立する住民運動（遺跡・文化財の保存、町づくりの要請など）ともなった。その点で地方史研究は、研究であると同時に運動としての側面を持っていたのである。

3. 図書館所蔵の自治体史

さて、図書館には、自治体史が4か所に分かれて所蔵されている。



(写真1 2階の岐阜県史等々)

正面玄関から出入口を通過して直進、右手に参考図書の本棚を眺めつつ進み、奥の左手に岐阜県史・岐阜市史、その他の県内市町村史を並べた書棚がある。岐阜地域に関連する授業をしたり、原稿を書いたりする時、

私はよくここを訪れて関連の自治体史を繙く。

出入口脇の階段を3階に上り、90度右に回って左手に歴史の本棚を見ながら進むと、右手の窓際に愛知県史・長野県史など隣接県の自治体史を並べた書棚がある。隣接県の自治体史は、近代の地域概念とは異なる前近代を調査研究するのに、必要不可欠な情報源となる。とくに岐阜地域を調査研究する場合には、尾張徳川家の支配との関連を視野に入れることが必要で、この書棚を見過ごすことはできない。

出入口を通過し、図書カウンターを右手に見ながら直進、すぐに90度右に回って進んで行く。右手にある階

段を下って1階の集密書庫に入ると、集密3には岐阜県内の市町村史がまとまって所蔵されている。この書棚には配架されていない自治体史もあるので、岐阜県内の自治体史の刊行状況がよく分かる書棚でもある。

集密3の向かい側、集密4には、『東京市史稿』の「市街篇」「産業篇」等々がギッシリと並んでいる。『東京市史稿』は「市街篇」「産業篇」のほか、「皇城篇」「変災篇」「上水篇」「救済篇」など10篇を数え、各篇はそれぞれ数冊から数十冊に及んでいる。明治以降から現在ま



(写真2 集密4の『東京市史稿』)

で、100年以上の編纂の歴史をもつ、江戸東京地域の編年体による、膨大な史料集である。岐阜に居ながら、江戸東京に関する史料にあたることのできるので、私にとってはきわめて重宝な書棚

となっている。

上記のほかにも、図書館の本棚には、自治体史関連書物が散在する。多数の自治体史が所蔵されているのである。しかし、残念なのは、自治体史の本棚の前に佇み、手にとって読んでいる人をほとんど見かけないことである。自治体史は、自治体が編纂主体となり、専門家による編纂委員が任命され、地域住民を含めた多数の人びとが調査・執筆に時間をかけ、少なからぬスペースが史・資料の保存にあてられ、多額の資金が投下されて刊行にいたる、貴重な成果である。活用されることによって、より一層、意味あるものとなることは言うまでもない。

4. 岐阜地域史研究と私

次に、私が関わってきた、いくつかの岐阜県内の自治体史について記そう。

岐阜県女性史 1996年、岐阜県では、飛騨と美濃の合併120周年を迎え、記念事業の1つとして『岐阜県女性史』が編纂されることとなった。岐阜県の歴史を女性の視点で振り返る、明治以降を対象とした『岐阜県女性史』の編纂が、県として初めて企画されたのである。私は、「生活と文化」担当の編集委員として、この事業に加わった。2000年に刊行なった『岐阜県女性史』は、「叙述」「年表」「聞き書き」の三部構成からなる。「聞き書き」は、約50名の「聞き書き等調査協力員」が、1年半をかけて200余名から聞き取った資料の一部である。聞き取り資料をすべて収録した冊子として、別に『岐阜県女性史聞き書き集』(三分冊)が編纂された。ここには、明治以降戦中戦後の、激動の時代を生きた人びとの、生々しい貴重な体験記録がまとめられている。若い人びとの閲読を、ぜひ勧めたい。

木曾川学研究 木曾川学研究協議会(各務原市長・犬山市長等々の自治体の首長や、学識経験者からなる「木曾川学」の研究組織)は、「木曾川学」を「失われた『シティ・アイデンティティー(市の個性・市の一体感)』の再復興のために、木曾川を中心に私たちのふるさとを研究する学問です。木曾川文化圏住民のみならずともに地域文化の創造母体としての木曾川を総合的に研究し、過去、現在、未来における木曾川の存在とその意義を明らかにすることで、地域起こしとしての木曾川学の

創設と各地域・各都市の個性や郷土愛の基盤であるシティ・アイデンティティーをめざす」と規定している。私は、2004年から木曾川学研究会委員として「木曾川学」に加わっている。「木曾川学」が、従来の自治体史と比較して重要なのは、個別の自治体史では捉えきれない、木曾川流域という広域の問題を扱おうとしている点にある。地域の歴史は、近代の地域概念では捕捉不可能な問題も、多々ある。新しい試みの成果は、年度ごとに冊子にまとめられている。数年後に、研究成果を総括する予定となっている。

郡上市史 平成の市町村合併によって、新しく郡上市が誕生し(郡上八幡町を中心に7町村が合併した市)、新市誕生の一体感を醸成するため、また、旧町村に伝存する史・資料の散逸を防ぐため等々の理由で、2004年から郡上市史の編纂がはじまった。以後順調に、「郡上市史編纂に関する条例」が制定され、編纂準備委員会が発足し、編纂組織・編纂方針・編纂スケジュールなども検討され、私も専門員としてこれに加わった。しかし、2006年の会議を最後に、編纂作業が完全にストップしてしまった。詳細は分からないが、どうも主たる原因は、財政難のため編纂予算の獲得が難しいことにあるようだ。編纂自体を放棄したのではない、ということなので、今後長い年月をかけて取り組まねばならないだろう。

以上、編纂が済んだ、編纂が進む、編纂が停滞したを紹介したが、を除いて図書館の書棚には、すでに配架されている。編纂途中の苦悩ぶりを、行間から読み取ってくだされば幸いである。

5. おわりに 図書館と学内施設の連携

大学内には、図書館のほか、注目すべき地域に関する教育研究施設が存在する。

教育学部郷土博物館 教育学部5階にある郷土博物館は、全国の国立大学法人の中でも、山形大学附属博物館と並んで、由緒ある歴史をもつ老舗の大学博物館である。前身は「岐阜師範学校郷土室」。1930年、全国各地の師範学校に対して、郷土資料収集のために文部省が予算を交付、次第に整備されていったものの1つである(郷土博物館・中尾喜代美氏による)。郷土博物館の史・資料収集の経緯はさまざまだが、現在、県域における考古資料は約2000点、古文書は約30000点を数えている。考古資料については毎年展示がなされ、古文書については目録が作成されており、県内の自治体史編纂の際にも公開されている。現在は、「博物館相当施設」となっているが、近年の内に博物館法が改正されると聞く。もし、「博物館相当施設」の指定から外れた場合、どうなるのだろうか。心配である。この郷土博物館をどのように位

置づけて利用するのか、それを検討することは、地域連携・貢献の一環として重要なことではないだろうか。

地域科学部地域資料・情報センター 地域科学部H棟6階にある地域資料・情報センターは、2002・03年度の文部科学省特別事業費、および学長裁量経費により設置されている施設である。センターのホームページには、「県内の自治体の保有する各種行政情報等を収集・整理することを通じて、学内における研究活動に資するのみならず、広く自治体関係者、住民の利用しえる地域に関する地域・情報として機能の整備を進めて」いる、と記されている。県内の市町村から収集した総合計画・各部門計画・統計資料等々と自治体史や県関係文献など、約1300点をデータベース化し、インターネット上で公開して検索サービスを行っている。センターの活動で注目すべきは、活動をより広範かつ多面的に展開するために、図書館・郷土博物館・総合情報メディアセンターとの連携を図っている、という点である。具体的には、地域資料・情報センターでは2005年度から、郷土博物館が所蔵している古文書を長期的に保存・活用していくため、整理作業を進めている。2007年度には、『美濃国方県郡河渡村木家文書目録』を刊行してデータベース化し、インターネット上で公開して検索サービスを行っている。

郷土博物館所蔵の史・資料は、自治体史編纂のもととなる大切な素材である。史・資料をもとに、図書館が所蔵するような自治体史は編纂されている。さらに自治体史を基礎資料の1つとして、地域資料・情報センターでは地域を分析し、新しい現在の地域づくりが推進されているのである。このように、図書館と博物館所蔵の史・資料が土台になって、地域資料・情報センターでの調査研究が進められ、その成果は、新たに図書館と博物館に蓄積され、次の利用に備えることになる。つまり、博物館、図書館、地域資料・情報センターの諸施設の機能は、循環しているのである。岐阜大学では、諸施設それぞれの機能が結びつき、地域研究を推進する基盤が存在している、と言えよう。地域連携・貢献を重視する岐阜大学が、地域社会に関する教育研究拠点として、従来にも増して実績を挙げ続けるためには、このような学内施設がより有機的に結びついて、活発な活動を行うことが、大いに期待されるのである。

(写真5 地域資料・情報センター前の冊子類)

このように、図書館と博物館所蔵の史・資料が土台になって、地域資料・情報センターでの調査研究が進められ、その成果は、新たに図書館と博物館に蓄積され、次の利用に備えることになる。つまり、博物館、図書館、地域資料・情報センターの諸施設の機能は、循環しているのである。岐阜大学では、諸施設それぞれの機能が結びつき、地域研究を推進する基盤が存在している、と言えよう。地域連携・貢献を重視する岐阜大学が、地域社会に関する教育研究拠点として、従来にも増して実績を挙げ続けるためには、このような学内施設がより有機的に結びついて、活発な活動を行うことが、大いに期待されるのである。

参考文献

『岩波講座 日本通史 別巻2』岩波書店、1994年。
 『岐阜県女性史 まん真ん中の女たち』(財)岐阜県広報センター、2000年。
 『木曾川学研究』第2号、木曾川学研究会、2005年。

(もりた こういち：留学生センター教授)



(写真3 郷土博物館所蔵の古文書)



(写真4 郷土博物館の考古展示)

医学図書館紹介



平成19年6月、司町の医学部分館廃止以来3年が過ぎて、待望の医学図書館が開館しました。効率的な資料配置、利用形態に応じた学習・研究空間を提供するよう計画した機能的な図書館です。その概要と利用方法をご紹介します。

【建物面積・蔵書】

総面積 2,032㎡
 収容可能冊数 177,950冊(7,118棚)
 蔵書数 153,536冊(館報発行時現在)

【開館日・時間】

月～金曜日 午前8時30分～午後8時
 土曜日 午前10時～午後6時

休館日：日・祝日、12/28～1/4、第2火曜日

医学系教員(医師含む)・院生・医員・研修医の方は、閉館後も医学部のICカードで24時間入館できます。

【入館】

館内の入館ゲートは、医学部のICカードで開放します。他学部、学外の方は、ゲート外からカウンターの職員に声をかけてください。リモート操作で開放しますので、入館してから学生証または身分証で手続きしていただきます。学外の方は利用願の記入をお願いします。

閉館後の入館は、ICカードで自動ドアのロックを解除してください(上記、医学系教員等のみ)。退館の際も、同様にICカードが必要です。

【貸出・返却】

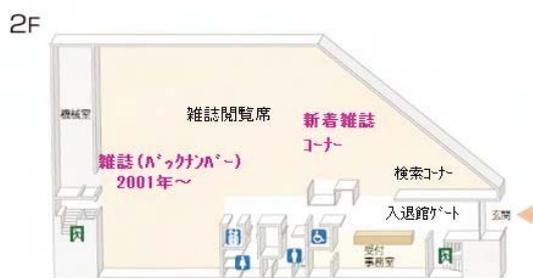
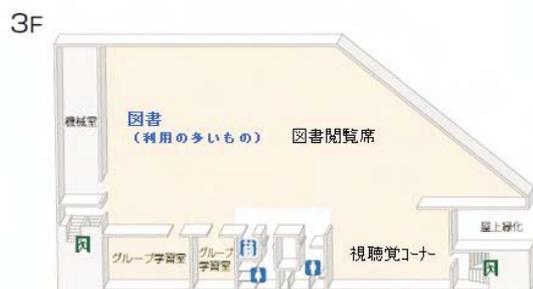
貸出には本学の学生証または身分証が必要です。手続きは本館と同様に自動貸出返却装置で行えます。

貸出期間は1週間、貸出冊数は下記の通りです。

学生	3冊以内
大学院学生	5冊以内
教育職員及び名誉教授	5冊以内
役員及び職員	3冊以内

【フロア構成と資料配置】

3階：利用頻度の多い新しい図書と学習用閲覧席
 2階：新着雑誌と2001年以降の雑誌バックナンバー(入館ゲート、カウンター、コピー機もこちら)
 1階：利用頻度の少ない古い図書、雑誌を集密書架に配置。



【閲覧室】



研究・学習に際して、パソコンやインターネットの使用が必須となってきたことから、閲覧室は全てOPENLANに接続できる環境になっています。(3階：無線LAN、1・2階：情報コンセント)

スペースを広くとった閲覧机では、ノートパソコンを使用しながら辞書・ノートを広げることができます。各机は仕切られており、画面のプライバシーを確保し集中して学習できるよう配慮されています。

【コピー】

館内資料のコピー用として、公費用コピー機2台と私費用1台を設置しています。いずれもプリペイドカード式ですので、あらかじめカードをご用意ください。公費用カードは分野長の印鑑をお持ちの上カウンターにお申し込みください。私費用カードは大学生協にて購入できます。

なお、コピーは著作権法の範囲内をお願いします。

【教育用パソコン】



2階カウンター近くに、総合情報メディアセンターの情報処理教育システムが使えるパソコンが12台あります。

インターネットを使った情報検索、メール、レポート作成等にご利用ください。利用の際は、学生証および総合情報メディアセンターから配布されたID/パスワードが必要です。

【館内施設】

利用対象者は、原則として医学系研究科・医学部所属の方です(研究個室は教育職員限定)。所定の用紙にてカウンターにお申し込みください。

グループ学習室(3階)

12人用A室と6人用B室の2部屋あります(18人用1部屋に変更も可能)。12人用A室には、パソコンに接続可能な65型ディスプレイと、VHS/DVDプレーヤーが設置してあります。視聴覚資料を使ったグループ学習やゼミ、学会発表プレゼンテーション練習等にご活用ください。



視聴覚コーナー(3階)

VHS/DVD/CDプレーヤー設置の個人用ブースが10席あります。カウンターで電源キーとヘッドホンをお貸ししますので、手続きをお願いします。所蔵ビデオは視聴覚コーナーに配架してありますが、所蔵DVD、CDを利用希望の際は、カウンターに保管してありますので、お申し出ください。

研究個室(1階)

一定の期間集中して文献を収集する場合を想定しています。机・椅子、OPENLAN情報コンセント、書棚を設置しています。2週間以内で連続して利用可能です。

【その他】

旧医学部分館でご利用の多かった「Journal Citation Reports」は、Web上で見られるようになりました。図書館ホームページから、画面右下「学内専用Service」の「Web of Science」に接続し、「Additional Resources」タグからJCRにアクセスできます。

寄贈図書一覧（平成16年度～19年12月）

平成16年度～平成19年12月までに図書館にご寄贈いただきました図書の中で本学教職員が著作・編集・刊行等に関係した図書のみを掲載します。ご寄贈いただきありがとうございました。引き続きご寄贈をお願いいたします。

平成16年度

山田敏弘（教育学部）

品詞・活用、格、ヴォイス、アスペクト・テンス、否定の特徴：ぎふ・ことばの研究ノート 第4集 山田敏弘 著 中京コピー 2005

川上紳一（教育学部）

マクロ進化と全生物の系統分類 佐藤矩行〔ほか〕著 岩波書店 2004

寺島隆吉（教育学部）

センとマルとセンで英語が好き！に変わる本：寺島先生のTMメソッド英語上達法 寺島隆吉、寺島美紀子著 中経出版 2004

チョムスキー21世紀の帝国アメリカを語る：イラク戦争とアメリカの目指す世界新秩序 ノーム・チョムスキー著；寺島隆吉訳 明石書店 2004

生徒がかわる教師がかわる授業はドラマだ 野澤裕子著 あすなろ社 2002

廣篤忍（教育学部）

子どもがどもっていると感じたら：吃音の正しい理解と家族支援のために 廣篤忍、堀彰人編 大月書店 2004

津田雅夫（地域科学部）

文化的近代を問う 稲生勝〔ほか〕著 文理閣 2004

朴澤直秀（地域科学部）

幕藩権力と寺檀制度 朴澤直秀著 吉川弘文館 2004

清水克時（医学部）

高齢者に対する整形外科手術：より高い機能を求めて 清水克時担当編集委員 メジカルビュー社 2002

装具療法：モデルと適応のすべて 清水克時担当編集委員 メジカルビュー社 2003

スポーツ整形外科の手術 清水克時担当編集委員 メジカルビュー社 2004

塚田敬義（医学部）

50の医療事故・判例の教訓：日常診療の落とし穴 日経メディカル編集 日経BP社 2004

大津廣子（医学部）

基礎看護技術：Evidence VOL.1：自立に向けての生活援助技術 大津廣子、三好さち子、望月章子編 みらい 2003

基礎看護技術：Evidence VOL.2：診断・治療に伴う援助技術 大津廣子、三好さち子、望月章子編 みらい 2003

高見澤一裕（応用生物科学部）

微生物工学 菊池慎太郎編著；高見澤一裕〔ほか〕共著 三共出版 2004

平成17年度

牟田おりえ（名誉教授）

はじめて学ぶ英米児童文学史 桂宥子、牟田おりえ編著 ミネルヴァ書房 2004

小林浩二（教育学部）

中央ヨーロッパの再生と展望：東西ヨーロッパの架け橋はいま 小林浩二著 古今書院 2005

川上紳一（教育学部）

生命と地球の共進化 川上紳一著 日本放送出版協会 2000
最新地球史がよくわかる本：「生命の星」誕生から未来まで 川上紳一、東條文治著 秀和システム 2006

別府哲（教育学部）

よくわかる認知発達とその支援 子安増生編 ミネルヴァ書房 2005

自閉症スペクトラムの発達と理解 別府哲、奥住秀之、小淵隆司著 全国障害者問題研究会出版部 2005

Applied developmental psychology: theory, practice, and research from Japan edited by David Shwalb, Jun Nakazawa and Barbara J. Shwalb; foreword by Hiroshi Azuma Information Age 2005

益川浩一（教育学部）

生涯学習・社会教育の理念と施策 益川浩一著 大学教育出版 2005

戦後初期公民館の実像：愛知・岐阜の初期公民館 益川浩一著 大学教育出版 2005

竹原健二（地域科学部）

現代福祉学の展開 竹原健二著 学文社 2006

竹内傳史（地域科学部）

鎌倉の交通社会実験：市民参加の交通計画づくり 高橋洋二、久保田尚著 勁草書房 2004

高岡健（医学部）

引きこもりを恐れず 高岡健著 ウェイツ 2003

時代病 吉本隆明、高岡健著 ウェイツ 2005

新しいうつ病論：絶望の中に見える希望 高岡健著 雲母書房 2003

別れの精神哲学：青春小説論ノート 高岡健著 雲母書房 2005

メンタルヘルスライブラリー11 人格障害のカルテ 理論編 高岡健、岡村達也編 批評社 2004

長崎幸雄（医学部）

美しいボディラインをつくる女性の筋力トレーニング解剖学 フレデリック・ドラヴィエ著；長崎幸雄、清水章弘訳 大修館書店 2005

青木隆明 (附属病院)

運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 林典雄著 メジカルビュー社 2005
 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 林典雄著 メジカルビュー社 2006

安田直彦 (工学部)

Ferroelectric thin films : basic properties and device physics for memory applications Masanori Okuyama, Yoshihiro Ishibashi Springer 2005

長谷川泰道 (工学部)

Realization theory of discrete-time dynamical systems Tsuyoshi Matsuo, Yasumichi Hasegawa Springer 2003

加藤正吾 (応用生物科学部)

レポートの書き方からプレゼンテーションまで:大学生のための情報リテラシー 加藤正吾、大場伸哉、八代田真人著 : 加藤正吾編 三恵社 2005

平成18年度

渡邊義行 (名誉教授)

小学校体育科教育の理論と実践 渡邊義行編著 黎明書房 1993
 学校水泳指導の基礎・基本 渡邊義行著 西日本法規出版 2005
 学校水泳の安全・衛生管理と指導の実際Q&A 渡邊義行著 黎明書房 2004

後藤正紘 (教育学部)

曖昧性と関連諸問題 後藤正紘著 英宝社 2006

寺島隆吉 (教育学部)

授業はトキメキ : 生徒がかわる・教師がかわる 岩井志子著 あすなろ社 2006
 授業は発見だ : 生徒がかわる・教師がかわる 山田昇司著 あすなろ社 2005

原田信之 (教育学部)

トピアスへの26通の手紙 : ぼく、どうして学校へ行くの H.v.ヘンティッヒ著 ; 原田信之、牛田伸一訳 ; 上、下 第三文明社 2006
 Beitrag des Lebenskundeunterrichts in der Leistungsgesellschaft Japans Nobuyuki Harada Carl von Ossietzky-Universität Oldenburg Didaktisches Zentrum (diz) 2006

竹原健二 (地域科学部)

現代地域福祉学 竹原健二編著 学文社 2006

長谷川泰道 ; 鈴木達雄 (工学部)

Realization theory and design of digital images Yasumichi Hasegawa, Tatsuo Suzuki Springer Berlin 2006

宇塚雄次 (応用生物科学部)

動物看護のための小動物内科学 宇塚雄次 [ほか] 著 日本小動物獣医師会 2006

額瀬守 (生命科学総合研究支援センター)

機器分析ナビ 服部敏明 [ほか] 編 化学同人 2006

平成19年4月～12月

稲田潔 (名誉教授)

稲田龍吉とその一族 稲田潔著 リブロ・サイエンス 2006

山田敏弘 (教育学部)

東濃方言資料に見られる文法項目 山田敏弘著 中京コピー 2006
 方言研究と教育を結ぶ学生の論考から 山田敏弘編 中京コピー 2007

根岸泰子 (教育学部)

太宰治をおもしろく読む方法 山口俊雄編 風媒社 2006

小林浩二 (教育学部)

EU拡大と新しいヨーロッパ 小林浩二、呉羽正昭編著 原書房 2007
 実践地理教育の課題 : 魅力ある授業をめざして 小林浩二編 ナカニシヤ出版 2007

原田信之 (教育学部)

確かな学力と豊かな学力 : 各国教育改革の実態と学力モデル 原田信之編著 ミネルヴァ書房 2007

柳沼良太 (教育学部)

問題解決型の道徳授業 : プラグマティック・アプローチ 柳沼良太著 明治図書出版 2006
 大学における障害学生支援のあり方 日本障害者高等教育支援センター問題研究会編 星の環会 2001
 道徳教育の研究 : 生きる力を育む道徳指導法 柳沼良太著 開成出版 2007

津田雅夫 (地域科学部)

人為と自然 : 三木清の思想史的研究 津田雅夫著 文理閣 2007

富樫幸一 (地域科学部)

人口減少時代の地方都市再生 : 岐阜市にみるサステナブルなまちづくり 富樫幸一 [ほか] 著 古今書院 2007

竹原健二 (地域科学部)

障害のある人の社会福祉学 竹原健二著 学文社 2007

森脇 久隆 (医学部)

消化器疾患 森脇久隆編集 日本医事新報社 2007

山本哲也 (医学部)

Angle closure glaucoma edited by Chul Hong, Tetsuya Yamamoto Kugler 2007

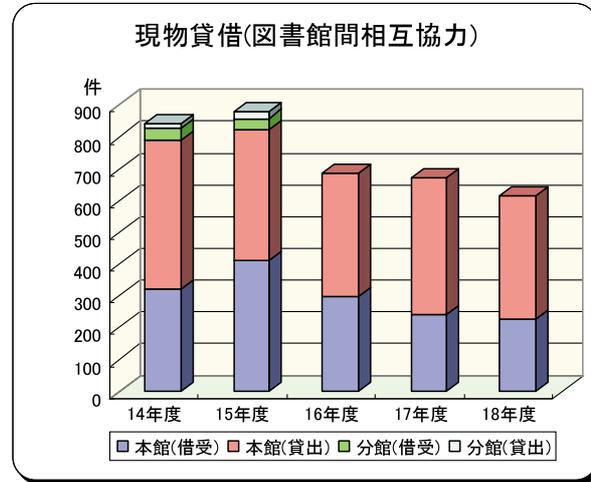
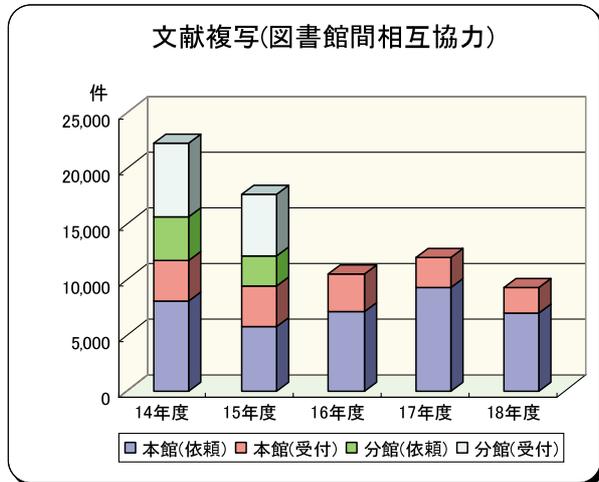
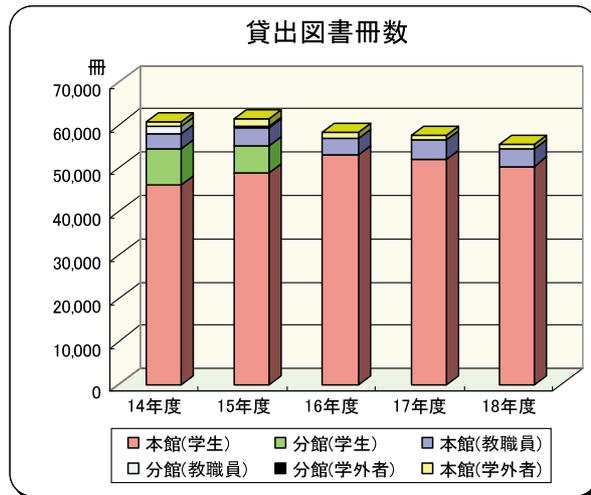
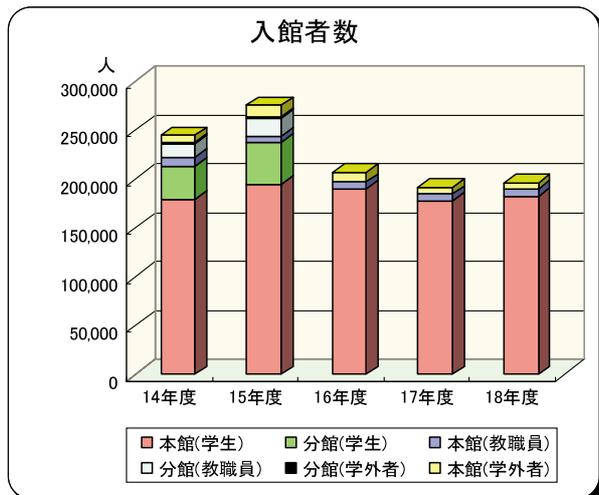
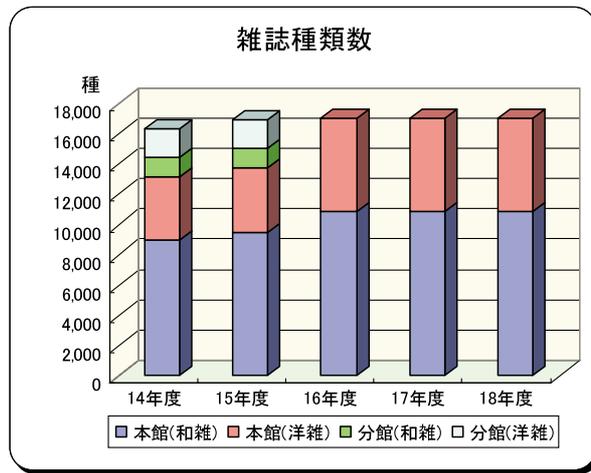
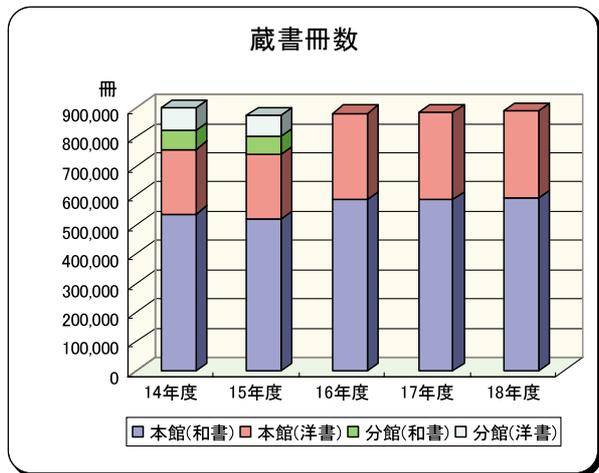
加藤正吾 (応用生物科学部)

OpenOffice.orgによる大学生のための情報リテラシー : 情報検索・レポートの書き方・図表作成・プレゼンテーション術 加藤正吾、八代田真人著 : 加藤正吾編 三恵社 2007

これらの図書は、図書館入口フロアーに一定期間展示していますのでご覧ください(貸出等も行っていきます)。

過去5年間図書館利用統計（平成14～18年度）

平成16年3月31日の医学部分館廃止に伴い平成16年度以降の本館蔵書冊数等には旧医学部分館所蔵資料が含まれています。



2008年外国雑誌購入変更リスト

今年実施しました雑誌購入希望アンケートを基に外国雑誌の新規購入及び購読中止タイトルを掲載します。

雑誌名	配架場所	雑誌名	配架場所
< 新規購入雑誌 >			
Otology neurotology : an international forum	医耳鼻咽喉科学	Holzforschung	図本館林学
Arthroscopy: the journal of arthroscopic & related surgery	医整形科学	Human genetics	医図雑誌
Clinical biomechanics	医整形科学	Intensive care medicine	医図雑誌
The Journal of hand surgery/ American Society for Surgery of the Hand	医整形科学	Japanese journal of ophthalmology	医図雑誌
The Journal of hand surgery	医整形科学	Journal of autism and developmental disorders	図本館教育
Shock	病救急	Journal of cancer research and clinical oncology	医腫瘍病理学
Wildlife professional	臨床獣医学	Journal of dairy research	図本館畜産医学
Journal of wildlife rehabilitation	野生動物救護センター	Journal of earthquake engineering	図本館土木工学
Physics in medicine and biology	医図雑誌	Journal of economic entomology	図本館生物学
< 購入中止雑誌 >			
Acta ophthalmologica Scandinavica(+ supplement)	医図雑誌	Journal of emergency nursing	医看成老看護学
American journal of respiratory cell and molecular biology	医図雑誌	Journal of family issues	総情メディア生涯学習
Annals of the Entomological Society of America	図本館生物学	Journal of linguistics	留学生センター
Annual review of applied linguistics	教養教育推進センター	Journal of magnetic resonance imaging	医図雑誌
Antipode	地域政策講座	Journal of marriage and the family	総情メディア生涯学習
Archives for dermatological research	医図雑誌	Journal of the Optical Society of America. A , Optics , image science , and vision	図本館物理学
Archives of gynecology and obstetrics	医図雑誌	Journal of the Optical Society of America. B , Optical physics	図本館物理学
Archives of orthopaedic and trauma surgery	医図雑誌	Journal of the Royal Statistical Society. Series C , Applied statistics	工応用情報学科
Archives of toxicology	医図雑誌	The journal of the Textile Institute	図本館繊維
Area	地域政策講座	Kyklos	地域政策講座
Astronomy and astrophysics	図本館物理学	Machine translation	工応用情報学科
Brain structure & function	医図雑誌	Medical education	医学教育開発研究センター
British journal of haematology	医図雑誌	Medical teacher	医学教育開発研究センター
Cancer causes & control	医図雑誌	Monthly review	地域政策講座
Cancer immunology and immunotherapy	医図雑誌	Nervenarzt	医図雑誌
Cell and tissue research	医図雑誌	Networks	工応用情報学科
Clinical rheumatology	医図雑誌	Parasitology	医図雑誌
Colloid and polymer science	図本館化学	Pflugers Archiv	医図雑誌
Communications of the ACM	図本館情報工学	Pharmaceutical research	病薬剤
Deutsche Vierteljahrsschrift fur Literatur. und Geistesgeschichte.	地域文化講座	Proceedings of the Institution of Civil Engineers. Water management	図本館土木工学
Digestive diseases and sciences. New series	医図雑誌	Proceedings of the London Mathematical Society. Ser 3	図本館数学
Diseases of the colon and rectum	医図雑誌	Reliability engineering system safety	図本館土木工学
Earthquake engineering and structural dynamics	図本館土木工学	Reproduction	図本館畜産医学
Emergency nurse	医看成老看護学	Respiratory medicine	医図雑誌
Environmental entomology	図本館生物学	Science & society	地域政策講座
European archives of oto-rhino-laryngology	医図雑誌	Sexually transmitted diseases	医泌尿器科学
European journal of applied physiology	医図雑誌	Spiegel	地域文化講座
Evolution	応・生態環境学	Textile research journal	図本館繊維
Exceptional children	図本館哲学	Theriogenology	臨床獣医学
Experimental brain research	医図雑誌	Transfusion	医図雑誌
Family relations	総情メディア生涯学習	Urology	医泌尿器科学
Few-body systems	工応用情報学科	Virchows Archiv	医図雑誌
Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology	医図雑誌	Water environment research	図本館土木工学
		Wood science and technology	図本館林学

電子ジャーナル一覧

ここに掲載しました契約中の電子ジャーナル以外にも雑誌（紙媒体）購入によりオンライン上でも利用提供している出版社（Blackwell, Taylor & Francis など）が多数ありますので以下の各 URL をご覧の上ご利用ください。

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~gulib/ej/ej.html> 学内専用
<http://www.lib.gifu-u.ac.jp/opc/ejournal.html>

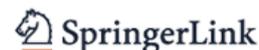
Science Direct (Elsevier 社)

1995年以降の学術雑誌約1,900誌が利用（Cell Press の雑誌は創刊号から直近1年前まで）でき、自宅等の学外からのリモートアクセスも可能です。リモートアクセスのお申込は図書館ホームページ内から行えます。



SpringerLink (Springer 社)

Springer 社が発行する学術雑誌の内約1,300誌が利用できます。



ProQuest Health and Medical Complete

臨床系商業誌を中心に看護、公衆衛生なども含めた医学周辺領域の学術雑誌が利用できます。



Nature

1997年以降の Nature 本誌や姉妹誌など18誌が利用できます。



CUP (Cambridge University Press)

人文、社会科学、自然科学分野が総合的に収録されている電子ジャーナルです。



Project MUSE

欧米の大学出版局等が発行する雑誌の電子ジャーナルで、人文科学、芸術、社会科学分野が収録されています。



Science

科学雑誌『Science』の電子ジャーナル版が創刊号から利用できます。ただし、Science Express, STKE は利用不可です。



CiNii (NII 論文情報ナビゲータ)

学協会誌・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの論文の機関定額制向けコンテンツが利用できます。



メディカルオンライン

日本国内の学会・出版社発行の学術雑誌に掲載された医学、歯学、薬学、看護学等の医学関連分野の約600誌が利用できます。



/// お 知 ら せ ///

Web of Science 及び JCR (Web 版) 導入について

Web of Science では各分野の主要欧文雑誌掲載論文の書誌データと、その論文の引用、被引用データが検索できます。検索した論文が、本学で利用可能な電子ジャーナルに掲載されている場合は、論文の本文が直接利用できます。

Science Citation Index Expanded (自然科学) Social Sciences Citation Index (社会科学) Arts & Humanities Citation Index (人文科学) の各分野が利用できます。

この他に **Medline** (医学文献データベース) 及び **Journal Citation Reports** (被引用率調査ツール) の Science Edition (自然科学) と Social Science Edition (人文・社会科学) が利用できます。

Journal Citation Reports は、学術雑誌が文献に引用された回数、引用した回数等を集計し数値化することで、雑誌の重要度、影響度を測ることができる雑誌評価ツールです。

接続は図書館ホームページ右側の接続先から行えます。

図書館 HP:<http://www1.gifu-u.ac.jp/~gulib/>

接続 URL:<http://isiknowledge.com/wos>

岐阜大学図書館報「寸胴」第40号 2007年12月26日

編集・発行

岐阜大学図書館(学術情報部情報サービス課)

〒501 1193 岐阜市柳戸1番1 ☎058 293 2184